

最優秀賞

上京区総合庁舎

京都市上京区



撮影：株式会社エスエス 大阪支店

建築主

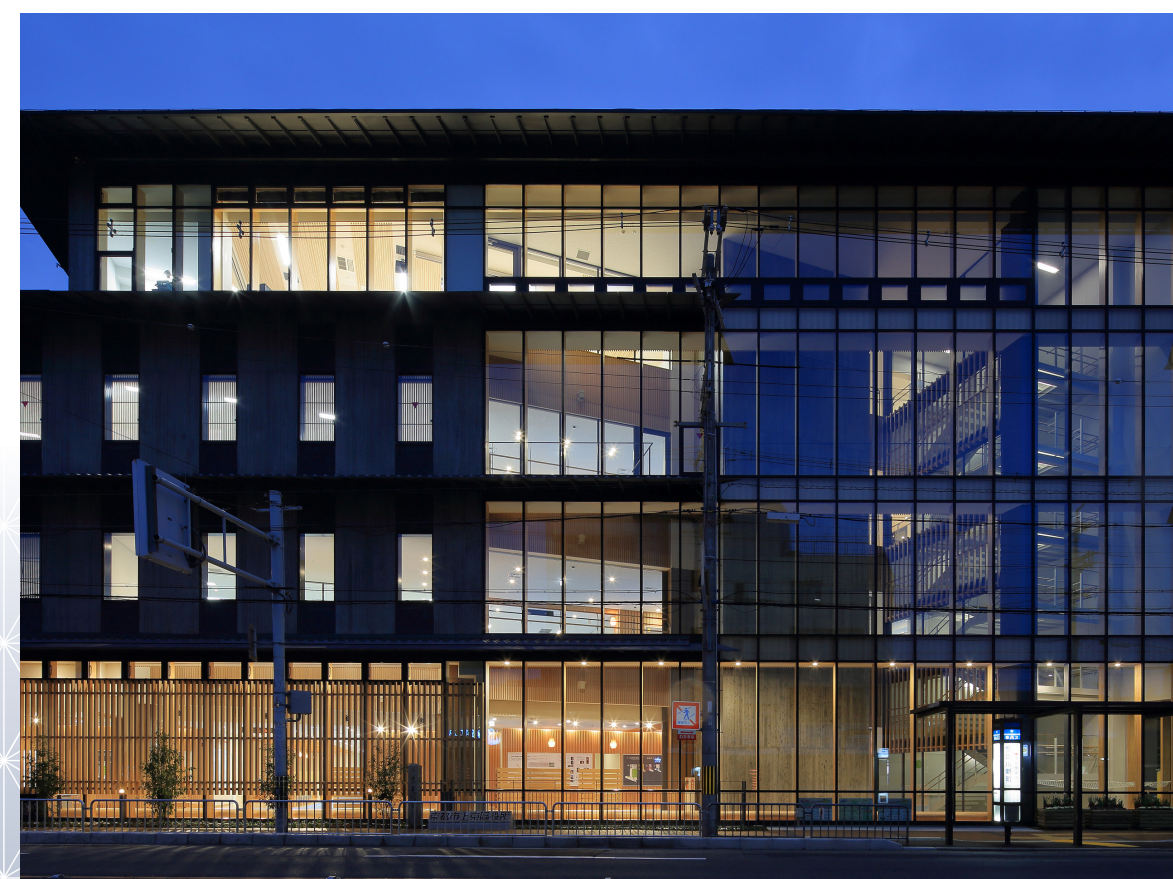
京都市

設計者

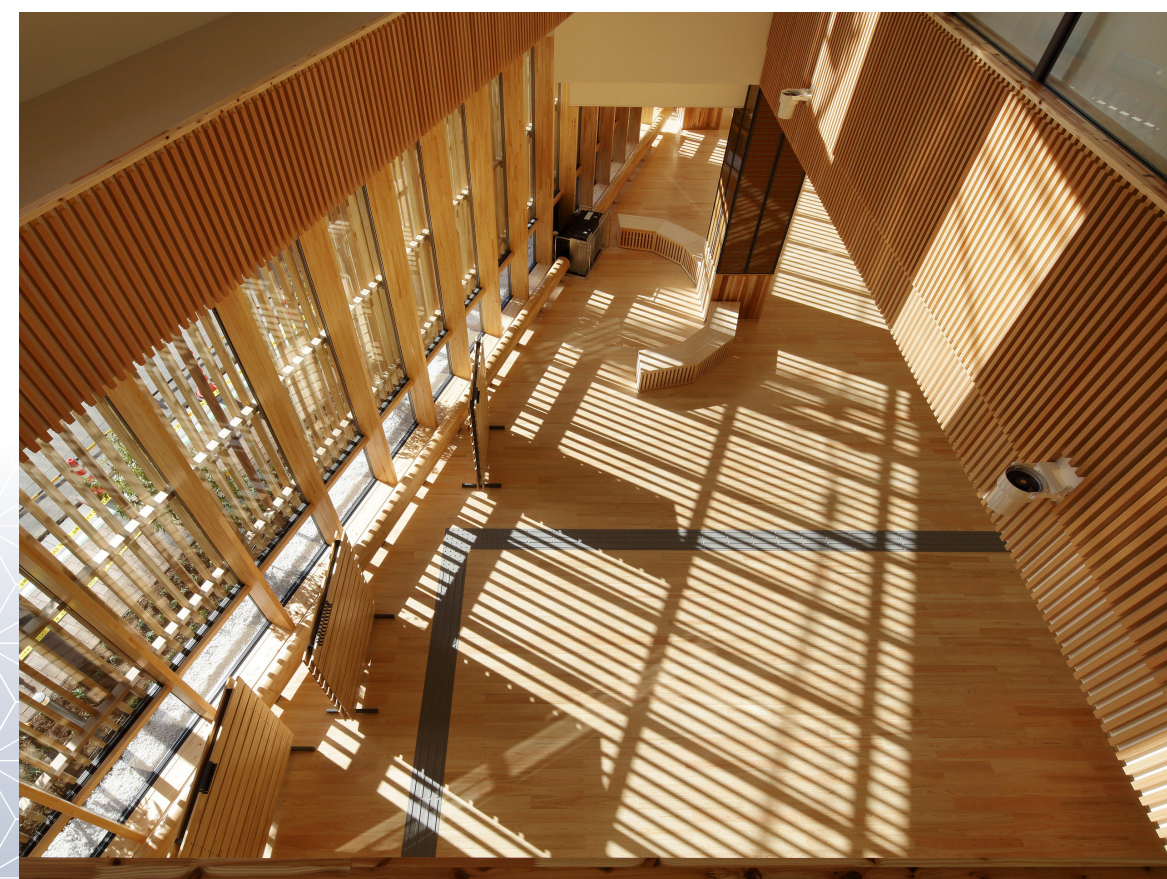
株式会社東畑建築事務所

施工者

大林組・太平工業特定建設工事共同企業体



撮影：株式会社エスエス 大阪支店



撮影：株式会社エスエス 大阪支店



撮影：株式会社エスエス 大阪支店

重層する庇と京格子による景観形成

各層に庇を設け、深い陰影による壁面の分節化を図り、上京の街並みのスケールに調和するよう配慮している。

また、この庇は日射制御、外壁防汚、メンテナンス歩廊としての機能を併せ持つ。

庁舎が接する周辺環境に合わせ、素材やピッチを変えた京格子は、外部からの視線を柔らかく遮りながら、庁舎内へ穏やかな日差しを採り込む役割を果たしている。



撮影：株式会社エスエス 大阪支店

みやこ杉木の積極的な使用

床材やリブ壁、天井ルーバーといった内装仕上げをはじめ、受付カウンター、待合ベンチなどの家具類、照明器具にいたるまで、みやこ杉木を使用している。それぞれ、みやこ杉木のもつ特徴的な木目や色合いを最大限に生かすデザインを目指した。

木に包まれるロビーが醸し出す、暖かみとやすらぎは、環境への意識啓発や木材利用の普及にも寄与するものである。

上京ならではのしつらえ

京を代表する伝統工芸、西陣織を合せガラスに加工し、織物の持つ魅力をあらたな視線で楽しんでもらえるよう、内装材や照明器具として使用している。

エレベーターの扉には、漆塗りの上に、川面映る上京の四季を表現した蒔絵を施している。

東西の入口扉の袖部分には、旧庁舎の階段外壁で明り取りとして使われていたダルガラスを以前と同じように光が透過する部分に再利用し、この地の色の記憶を継承した。



撮影：株式会社エスエス 大阪支店